

あさ せいかつ  
朝の生活

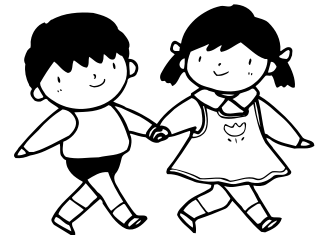
- 決められた通学路を守って、集団登校をしましょう。  
(集合時刻は、学校に7:45~8:10の間に着くように決めましょう。)
- 欠席・遅刻する場合は、学校と登校班に連絡しましょう。  
(学校への連絡はできるだけ7:45~8:00の間にお願います。)
- 友達や先生、地域の人に気持ちのよいあいさつをしましょう。
- 学習に必要なでないものは、持ってこないようにしましょう。



こうない せいかつ  
校内での生活

ふくそう かみがた  
服装・髪型について

- ① 上衣は、基準服を着用します。
  - ② 上衣の下は、白色のポロシャツまたはブラウスを着ます。下着がはみ出さないようにする。
  - ③ 下衣は、基準服の半ズボン・スカート・長ズボンです。
  - ④ 登下校時は、黄色帽子を着用します。(校章無しも可)
  - ⑤ 上衣の下に紺のベストやセーターを着用してもよい。  
※学校外に出るときはポロシャツまたは上衣を着て、ベストやセーターのみでは歩きません。
  - 上着の上にジャンパーなどを着用してもよい。
  - 長ズボンを着用する場合は基準服の長ズボンを着る。
  - 手袋やマフラーを着用してもよい。(ただし、教室内では着用しない。)
  - ⑥ くつ下・タイツ・スパッツは、白・紺・黒で無地単色とする。靴下は、ひざ下からくるぶしが隠れる長さものを着用します。
  - ⑦ くつは、運動がしやすく、華美にならないものにしましょう。(ハイカット不可)
  - ⑧ 清けつで自然な髪型にする。パーマ、髪染め等特別な髪型は禁止です。
  - ⑨ 肩にかかる場合は耳より下で二か所または一か所できくる。髪留めなどの色は、黒・紺・茶色。
  - ⑩ 体育の時は、体操服を着用します。
    - 上衣は白色の丸首(紺色のライン)、下衣は紺色のハーフパンツ、赤白帽子(季節により長袖のものでもよい。)
    - 体操服を着て登校しません。(体操服用の袋に入れて持って来ましょう。)
- \*衣服には記名をしましょう。ボタンがあるものはきちんと留めましょう。

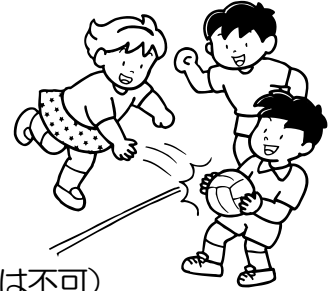


も もの  
持ち物について

- ① えん筆は4~6本(シャープペンシル不可) おりたたみものさし不可
- ② 必要に応じて赤・青程度のボールペン可 ラインマーカーは1本持ってきてもよい。
- ③ カンの筆箱は持ってこない。  
ランドセルなどの持ち物にマスコットやキーホルダーなどをつけない。

## 学習・給食について

- ・着ベル、黙想、先言後礼で学習をスタートしましょう。
- ・次の授業の準備をしてから休けいをしましょう。
- ・クロームブックはルールを守って使しましょう。
- ・忘れ物をしないようにしましょう。忘れ物があっても、家に取りに帰ってはいけません。
- ・体育の授業を見学する時は、家の人からの連絡が届くようにしましょう。
- ・特別教室は先生の許可無しでは入ってはいけません。
- ・給食準備中はマスクをつけて静かに待ちましょう。



## 休み時間について

- ・廊下・階段は右側を静かに歩きましょう。
- ・雨の日は、教室で静かにすごしましょう。
- ・冬季は手袋を着用して遊んでもよい。(ネックウォーマー、マフラーは不可)

## 集会・朝会について

- ・体育館での朝会・集会のときは、廊下に並んで静かに移動しましょう。
- ・外のときは玄関まで、体育館のときは教室まで並んで帰りましょう。
- ・集団下校のときは、班長以外は座って静かに待ちましょう。

## 放課後の生活

- ・下校時刻の4：00を守りましょう。
- ・通学路を歩いて下校しましょう。途中で友達の家などによってははいけません。
- ・遊びに出たときも夏季(4月～9月)は5：30、冬季(10月～3月)は5：00までには家に着くように帰りましょう。
- ・校区外に、子どもだけで遊びに行ってはいけません。
- ・子どもだけでお店にいきません。
- ・子どもどうしのおごりあいや、ゲームなどの貸し借りはしません。
- ・交通事故にあわないように自転車の乗り方などに気をつけましょう。(ヘルメットをつける)
- ・線路内や工事現場、池・川の側など危ないところでは、遊ばないようにしましょう。
- ・エアガン等危険な遊具の使用は禁止します。
- ・学校に遊びに来るときは、お菓子やジュースなどは持ってこないようにしましょう。
- ・放課後、学校で遊ぶときは一度家に帰ってから来ましょう。西門や校舎の近くでは遊ばないようにしましょう。
- ※自転車はバックネットの裏か体育館下に並べてとめましょう。
- ・危険な目にあいそうになったら「いかのおすし」で身を守りましょう。  
「子ども110番の家」にかけこみ、助けを求めましょう。
- ・事故や被害にあいそうになったり、あったりしたときには家の人、学校、警察などにすぐ知らせましょう。

